

# RAMDOM EXCHANGE

平成28年度冬のS-AIRレジデンスプログラムでは、マレーシアからヨンチア・チャン、イギリスからウォレン・ハーパーとジェームス・ラヴィネットを招へいし、展覧会とトークイベントを開催します。レジデンスの成果を長期的視野で捉えるべく、2nd AIRとして、2008年に一度滞在制作を行っているチャンを再び招へい。当時と比べてアーティストとしての立ち位置や作品観にどのような変化が起こったのでしょうか。アートと科学の分野でのユニークな取り組みで知られるイギリスの美術団体、アーツ・カタリストとの連携により、昨年夏にアーティストの竹内公太をイギリスに派遣し、交換プログラムとして日本にハーパーとラヴィネットを招へい。日本における核関連施設やその周辺地域と環境についての滞在調査と制作を進めます。

S-AIR Exchange Programme 2016 冬期

## ウォレン・ハーパー & ジェームス・ラヴィネット 展覧会

2017年3月10日(金)～3月16日(木) 10:00～19:00 ※3月13日(月)休み

## アーティストトーク

2017年3月12日(日) 15:00～16:30 入場無料

ふたりが英国で取り組んでいる、ブラッドウェル・オン・シー原子力発電所周辺地域でのプロジェクトについて、幌延深地層研究センターや泊原子力発電所周辺地域、北海道における代替エネルギーの取り組み、また、地元の住民、農家、市民科学者、活動家の方たちへの取材など、日本での滞在制作・調査について発表します。

さっぽろ天神山アートスタジオ

(北海道札幌市豊平区平岸2条17丁目1-80) TEL 011-820-2140

AFTER AIR シリーズ

## 竹内公太 アーツ・カタリスト 滞在制作報告会

2017年3月11日(土) 15:00～16:30 入場無料

アーティストの竹内公太は、2016年夏に交換プログラムでイギリスに滞在、プリマスで展覧会に参加、ロンドン、フリックスボロー、ベルギー等に訪れ、アーツ・カタリストを拠点に滞在調査・制作を行いました。6月に行われたEU離脱投票での人々の反応など、滞在中に体験した出来事も含め報告します。

SIAF ラウンジ (札幌市中央区大通西13丁目 札幌市資料館1F)

TEL 011-252-9360 <http://siaf.jp/siafab/>

S-AIR Exchange Programme 2016 冬期 2nd AIR

## ヨンチア・チャン 展覧会

2017年3月10日(金)～3月19日(日) 12:00～20:00 ※3月14日(火)休み

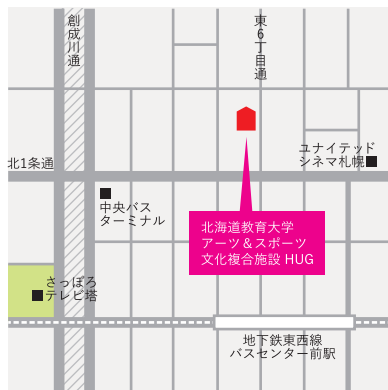
## アーティストトーク

2017年3月10日(金) 19:00～20:00 入場無料

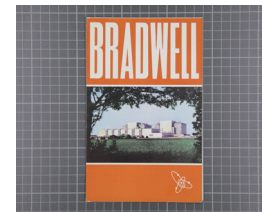
二ヶ月間の札幌滞在中に、ろうけつ染めの工房へ通ったり、水墨画についてのリサーチを行ったりして制作を行いました。また、前回2008年の札幌滞在中でも制作していた、北海道で手に入れた貝の殻や蟹の甲羅などに、油絵の具で絵を描くシリーズの作品を制作。それら全てを、HUGの広い展示空間に展開します。

北海道教育大学 アーツ & スポーツ文化複合施設 HUG

(札幌市中央区北1条東2丁目4番地 札幌軟石蔵) TEL 011-300-8989



James Ravinet: Visual Mitigation, film still; courtesy the artist



James Ravinet: Autonomy in the Anthropocene, installation view; courtesy the artist



James Ravinet: Autonomy in the Anthropocene, archive extract; courtesy the artist

## Warren Harper ウォレン・ハーパー

主にアーティストとの協同による長期プロジェクトを展開し形にする、キュレーター／リサーチャー。キュレーターとしての最新のプロジェクトは、ジェームス・ラヴィネットとのMigrating Origins (2014)、ジョナサン・ウェストンとのDigital Voices (2015)、ショーン・C・パドハムとのMORNING (2016)、ステファニー・サットンとのエセックス・アーキテクチャー・ウィークエンドでのトークプログラムがある。YoHa, Critical Art Ensemble、アーツ・カタリストのコミッションによる、「Wrecked on the Intertidal Zone」のためのリサーチや、フォーカル・ポイント・ギャラリーの主導によるRadical Essexプログラムのためのモダニスト建築に関するリサーチも担当。現在は、アーティストのジェームス・ラヴィネットと共に、核をめぐる文化に関する長期プロジェクトに取り組んでいる。以前は、エセックス州サウスエンド市のTAP(Temporary Arts Project) でアシスタント・ディレクターを勤めた。 [www.warrenharper.info](http://www.warrenharper.info)

## James Ravinet ジェームス・ラヴィネット

アーティスト、キュレーターとして活動し、領域横断的な共同活動の方法、著作者は誰なのかという認識を揺るがすことに関心がある。2016年ロイヤル・カレッジ・オブ・アートのMoving Image Programmeを修了し、アーティストとしては、The Old Waterworks (2016)、Royal College of Art (2016)、Jerwood Space (2016)、Firstsite (2015)、Dyson Gallery (2015)、Light Eye Mind (2013)等、ロンドンやコルチェスターのギャラリーで展覧会を開催している。これまで手がけたキュレーションは、ウォレン・ハーパーとのMigrating Origins (2014)がある。現在サウスエンド・オン・シーのフォーカル・ポイント・ギャラリーで、オフサイトプロジェクトのアシスタント・キュレーターを務める。個人としての現在の活動は、エセックスにおける核をめぐる文化に関する長期プロジェクトにウォレン・ハーパーと取り組んでいる。 [www.jamesravinet.com](http://www.jamesravinet.com)

## 連携団体(イギリス) Arts Catalyst アーツ・カタリスト

アートと科学の分野でのユニークな取り組みや意欲的なプロジェクトを企画し、イギリスでも特異な活動を試みる美術団体。22年間の活動で、Tomas Saraceno, Aleksandra Mir, Critical Art Ensemble, Jan Fabre, Otolith Group, Marko Peljhan等によるプロジェクトを含む、120以上のプロジェクトを手がけ、イギリスを拠点に世界中で多くの展覧会やイベントを開催する。科学分野に関わるアーティストの活動のサポートや、問題提起のための対話を促すなど、この分野において率先的な活動を行う。 <http://www.artscatalyst.org>

派遣作家

## 竹内 公太 Kota TAKEUCHI

公共の風景、社会的事件に対する人の心象、振る舞いへの興味を持つ。メディアと記憶の関係をテーマに、近代史にまつわる記念碑や産業遺産を巡り、ギャラリー内外を舞台に絵画、映像等を制作。並行して、帰還困難区域内の展覧会「Don't Follow the Wind」実行委員、また東京電力福島第一原発ライブカメラの前に立った「指差し作業員」の代理人として活動。2016年にS-AIRからの派遣アーティストとしてイギリスで滞在制作を行った。 <http://kota-takeuchi.net>

Kota Takeuchi: Take Stone Monuments Twice; courtesy the artist

## Chang Yoong Chia ヨンチア・チャン

マレーシアの美術大学で絵画を学び、国内、海外での展覧会に多く参加している。民族や宗教、歴史が複雑に混ざりあったマレーシアという場所自体や、そこで生きる個人の物語を扱い、絵画や刺繍、コラージュなどで作品化している。2005年に開催された「第三回 福岡アジアトリエンナーレ」で「キルト・オブ・デッド」を発表した他、2008年にはJENESYS programmeによりS-AIRで滞在制作を行った。2013年には横浜美術館、熊本美術館での企画展に参加したり、近年はフランス、インド、シンガポールで展覧会に参加したりするなど、国際的に活躍している。 <http://www.changyoongchia.com/>

## 連携団体(マレーシア) Rimbun Dahan リンブンダハン

Hijas Kasturi と Angelaが運営するマレーシアのプライベートアートセンター。クアラルンプール郊外に広い敷地を有しており、伝統的な芸術と現代美術とを融合させる試みを行っている。ビジュアルアートを始め、ダンサー、振付師など幅広いアーティストをサポートするアーティスト・イン・レジデンスを運営している。 <http://rimbundahan.org/>

## 連携団体(マレーシア) Run Amok Gallery ランアモクギャラリー

ペナン州のジョージタウンにあるアーティストランスペース。2013年にHoo Fan Chonによって設立され、複数のアーティストらによって運営されている。地域に多様性のあるアートコミュニティを育むべく、オルタナティブな存在として特にビジュアルアートを中心としたさまざまな芸術文化の企画を行っている。 <http://runamok.my/wordpress/>

S-AIR Exchange Programme 2016

主催 / 特定非営利活動法人S-AIR、北海道教育大学岩見沢校 連携団体 / Arts Catalyst, Rimbun Dahan, Run Amok Gallery

●お問い合わせ

特定非営利活動法人S-AIR 060-0906 札幌市東区北6条東2丁目2-10 3F-A TEL 011-299-1883 <http://www.s-air.org> [info@s-air.org](mailto:info@s-air.org)

助成 / 平成28年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業、Arts Council England

招聘協力: 小田井真美(さっぽろ天神山アートスタジオAIRディレクター)

滞在制作コーディネート: さっぽろ天神山アートスタジオ

協力 / さっぽろ天神山アートスタジオ、SIAFラボ、北海道教育大学アーツ & スポーツ文化複合施設HUG



S-AIR Exchange Programme 2016 SCHEDULE	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19
さっぽろ天神山アートスタジオ	●	●	● TALK	×	●	●	●			
SIAFラウンジ		● TALK								
北海道教育大学 アーツ & スポーツ文化複合施設 HUG	● TALK	●	●	●	×	●	●	●	●	●